

「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー」実施報告

1 開催日時・会場

平成29年1月25日（水） ライフパーク倉敷 大ホール

13:30 開 会 倉敷市副市長挨拶

13:35 講演 「個人も組織も成長する働き方改革」
株式会社佐々木常夫ビジネスマネージメント・リサーチ
代表取締役 佐々木 常夫 氏

14:50 休 憩

15:00 事例発表

- 株式会社長岡塗装店（常務取締役 古志野 純子 氏）
- 倉敷地所株式会社（経営企画室 営業・マーケティングユニット チーフ 松坂 圭祐氏）
- ペガサスキャンドル株式会社（総務部 総務課 課長 藤井 和代氏）

16:00 閉 会

同時開催 13:00~17:00

岡山労働局「働き方・休み方改善コンサルタント」による個別相談会 中ホール

岡山労働局・岡山県・倉敷市によるワーク・ライフ・バランス関連パネル展示 大ホール

2 目的

女性が子育て等をしながら、就業継続、あるいは再就職をするなど、多様な働き方ができる社会をつくるためには、一人ひとりの取り組みだけでなく、経営側（経営者、管理職、人事・労務担当）の理解、意識改革が重要であり、男女間格差の是正と女性の能力発揮を促進する自主的かつ積極的な取り組み（ポジティブ・アクション）が求められる。

当該セミナーの実施を通じて、女性の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現は、事業所の生産性向上に役立つ経営戦略であり、ひいては地域経済の活性化に寄与することを十分に認識させ、各事業所における女性活躍推進と働き方改革の機運を醸成する。

3 企画検討会議

民間事業所13社及び労働局、県担当課に参加を依頼し、セミナーの実施内容の検討（計4回の会議を実施）、参加者募集のPR、当日の進行管理・運営などに御協力をいただいた。

また、セミナーに限らず、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍に関する現場の取組状況及びそれに伴い直面している課題などについて、会議委員との意見・情報交換を行った。

今後、様々な施策を事業所と協働で推進する体制の構築に繋げていきたい。

（企画検討会議 参加民間事業所）

学校法人川崎学園、倉敷地所株式会社、倉敷商工会議所女性会・玉島商工会議所女性会・児島商工会議所女性会、医療法人創和会しげい病院、一般社団法人チカク、株式会社中国銀行、株式会社トマト銀行、株式会社仁科百貨店、日本生命保険相互会社倉敷支社、ペガサスキャンドル株式会社、水島ガス株式会社

4 参加者（参加事業所）数

約200人（約100事業所）

5 事後アンケート

本市が平成26年に実施した事業所アンケートでは、「ポジティブ・アクションに取り組む予定はない」と答えた事業所が36.2%にのぼっている。さらには、「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識が根強く残り、また、「男性は仕事優先、女性は家庭優先」となっている生活実態や「ワーク・ライフ・バランス」への取り組みに消極的な事業所の割合が高い、といった状況も見受けられる。

そうした中で開催したセミナーであったが、事後アンケートからは、「たくさんの気づきやヒントを得たので、すぐに実践したい」「多種多様な改善例、地元企業や中小企業の取り組み事例がたいへん参考になった」など、参加した多くの事業所にとってワーク・ライフ・バランスについて理解を深め、取り組みをスタートさせる契機になった、との強い手応えを感じている。

今後も市民や事業所に対して、女性活躍の基盤となるポジティブ・アクション及びワーク・ライフ・バランスの浸透を図るべく、本セミナーを継続的に開催し、意識啓発や事例紹介を積極的に行う予定である。

アンケート結果 ※90人より回答

	非常に良かった	良かった	あまり良くなかった	良くなかった	無回答
講演	55	34	0	0	1
事例発表	25	57	4	0	4

